

I 研究の概要

1 研究主題と基本構想

今日的状況

「生きる力」の育成
 = (知) 「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な**思考力、判断力、表現力**その他の能力をはぐくむ力」
 = 「**活用力**」の育成

本校生徒につけたい力

(実態調査・アンケートから)
 ・自分で考え、工夫する力
 ・人の話、考えをしっかりと聴き、自分の言葉で自分の考えを述べる事が出来る力
 ・学んだことを活かそうとする力
 ・あきらめず探求する力

学習におけるめざす生徒像

「意欲を持って主体的に学ぶ生徒」

- ① 学習の基礎的・基本的な力が身についている生徒
- ② 課題意識を持って**考え、判断、表現**することができる生徒
- ③ 意欲的に粘り強く問題を解決していく生徒

研究主題

「意欲を持って主体的に学ぶ生徒の育成」
 「活用力」の向上をめざして

研究の仮説

- ◇ 生徒の実態をふまえた上で、**授業の工夫・改善**や**学習ルール**の徹底、**学習習慣**の定着を図っていけば、基礎的・基本的な力が定着し、意欲を持って主体的に学習に取り組む生徒が育つであろう。
- ◇ **課題解決型の授業**に取り組み、**言語活動による表現**や**学び合い**を大切にした授業展開を工夫していけば、学ぶ喜びを味わい、課題意識を持って自ら**考え、判断し、表現する力（活用力）**を身につけた生徒が育つであろう。

研究の組織と取り組み

研究推進委員会

校内研修全体会

分科会

授業づくり	学習ルール・学習習慣	調査・分析
「活用力」の向上を意識した授業の工夫・改善	学習の基盤となる取り組み姿勢の育成	実態把握 改善策

実践

教科

学年会・学級

実践

II 研究の取り組み

《「活用力」の捉え方と育成のための手だて》

1 本校における「活用力」の捉え方

実践を進めるにあたり、生徒につけたい力としての「活用力」について共通理解が必要であると考えた。

「活用力」

∥

既習の知識・技能を活用して課題を解決するために必要な
思考力、判断力、表現力 等

上記の「課題」について : 本来は、将来の「生きる力」につながるもの。
つまり、「日常生活における『課題』」であり、
また、「今後様々な場面で出会うであろう『課題』」等、
広い意味での『課題』であると思われる。

しかし、
授業実践を進めるにあたっては、
「学習活動における『課題』」と捉えて取り組む。
その積み重ねが「生きる力」につながると考える。

2 各教科における「活用力」の捉え方

各教科で「活用力」をどのように捉えるかを検討し、授業実践に生かすようにした。

(例)

教科	教科における「活用力」	教科における「活用力」 <分野ごとに>
社会	基本的な知識・技能を活用し、様々な資料に基づいて多角的・多面的に考えることができ【思考力】、民主的、平和的な社会の形成者としての考え方に基づいて判断することができ【判断力】、また、その考えを適切に表現できる力。【表現力】	思考力・判断力・表現力はどの分野でも密接に関連しあっているが、特に分野ごとに重点を置く活用力は次の通りである。 ○地理的分野；資料にまとめる力やわかりやすく発表する力【表現力】 ○歴史的分野；課題を考える力【思考力】 幅広いものの見方や立場をかえたものの見方（多角的・多面的な見方）【思考力】 ○公民的分野；現在の社会的事象について、自分はどう感じるのか、将来どうすべきかなどについて考える力や判断する力【思考力・判断力】

↓

「活用力」を育むための学習活動 (表現力)
○ 地理的分野では、調査の規模によって適切な資料を選び、そこからわかることをわかりやすく <u>グラフや表・地図にまとめ、相手を意識し根拠を挙げて発表する。</u>
○ 歴史的分野では、様々な資料を比べることや、ひとつの資料から予想することで課題をつくる。また、ひとつのものごと（事例）を、 <u>立場を変えて考え説明する。</u>
○ 公民的分野では、身近なところから政治や経済について考え、 <u>レポートの作成などを通じて、自分の考えを感想を含めて表現する。</u>

3 言語活動（言葉によって表現する活動）の充実

考えたこと、判断したことは、表現してこそ伝わる。

→ 考えたこと判断したことを伝える表現力をつけさせたい。

考えを持ったり、判断をするための手立て

- ・比較して
- ・分類して
- ・関連付けて
- ・分析して
- ・仮説を立てて
- ・知識や経験と照らし合わせて
- ・想像（イメージ）して
- ・評価して

より良い表現のための手立て

- (書・話)
 - ・必要な情報・内容を選んで
 - ・わかりやすい構成で
 - ・的確な言葉を選んで
 - ・根拠を挙げて
 - ・理由を挙げて
 - ・感想を含めて
- (話)
 - ・聞き取りやすい大きさ、速さで
 - ・相手のほうを向いて

表現力を高めるための活動 の例

- | | | |
|---------|-----------|------------|
| *記録 (書) | *報告 (書・話) | *問答 (話) |
| *記述 (書) | *要約 (書・話) | *討論 (話) |
| *創作 (書) | *説明 (書・話) | *ディベート (話) |
| | *論述 (話) | |
| | *意見発表 (話) | |
| | *意見交換 (話) | |

これらを単元計画の中に設定する



活動の積み重ねによって、「活用力」が向上する

